



LD等発達障害児・者親の会

「けやき」機関紙

第123号

2021年 3月発行

発行者・代表 廣瀬登士子

けやきホームページ URL [http:// keyakitokyo.web.fc2.com/](http://keyakitokyo.web.fc2.com/)

2021年度総会について

会員の皆様

2021（令和3）年度の総会について、お知らせいたします。

緊急事態宣言は解除されましたが、例年総会時に利用している会場が現在貸し出しを中止しておりますので、今年もメーリングリストを利用して総会を開催します。総会時に行う会員更新手続きと会費支払い、総会議事に関しましては、以下の通りとさせていただきます。

（1）会員更新手続き

「更新申込書」「状況アンケート」は、4月上旬にメーリングリストを利用して皆様に送付いたします。必要事項をご記入後、5月末までに廣瀬へメール添付でご返送ください。（メーリングリストに登録されていない方には、用紙を郵送します。記入後に郵便でご返送ください。）

（2）会費支払い

5月末までに本会報最終ページ記載の口座へお振込みをお願いします。（今年度は会費額が変更になっておりますので、ご注意ください。）

（3）総会議事

4月中旬に「2021年度総会議案書」をメール添付でお送りします（メーリングリストに登録されていない方には、郵送。）内容をご確認いただき、ご質問等ございましたら、廣瀬までお知らせください。皆様の了解が得られましたら、議案の可決といたします。

昨年に引き続き、このような形での総会開催になることをとても残念に思っています。皆様にはお手数をおかけして誠に申し訳ございませんが、何卒ご協力の程よろしくお願いたします。



けやき年間活動報告

今年度は活動を自粛する期間が長く続き、皆様にはご迷惑・ご不便をおかけしましたが、12月よりzoomを利用した例会活動を再開しています。自主グループ「ポーレポーレ」は、ボランティアの方のお力を借りながら、毎月zoomで近況報告や鉄道などの趣味の動画・写真を共有したりして活動を続けています。落ち着かない時にもかかわらず、要望書関係や全国LD関連の活動にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

来年度も自分達にできることを考えながら、状況に合わせて活動を続けていきたいと思っておりますので、引き続きお力添えを宜しくお願いいたします。

《2020年4月～2021年3月の活動》

4月25日(土)～26日(日)	2020年度総会	メーリングリスト利用
5月24日(日)	5月例会	中止
6月20日(土)	全国LD総会	書面議決
6月26日(金)	東京LD親の会連絡会総会	メールによる議決
6月27日(日)	6月例会	中止
7月12日(日)	関東・東北ブロック会議	オンライン(zoom)
7月26日(日)	7月例会	中止
	機関紙第121号発行	
9月26日(土)	関東・東北ブロック会議	オンライン(zoom)
9月27日(日)	9月例会	中止
10月21日(水)	都へ要望書郵送	
10月24日(土)	10月例会	中止
11月21日(土)	全国LD研修会	オンライン(zoom)
11月22日(日)	けやき役員会	多摩交流センター
12月6日(日)	12月例会	オンライン(zoom)
12月8日(火)～9日(水)	臨時総会	メーリングリスト利用
12月19日(土)	機関紙第122号発行	
1月22日(金)	都との意見交換会	延期(緊急事態宣言)※
1月24日(日)	1月例会	オンライン(zoom)
2月14日(日)	関東・東北ブロック会議	オンライン(zoom)
2月21日(日)	全国LD公開フォーラム	オンライン(zoom)
2月27日(土)	2月例会	オンライン(zoom)
3月下旬	機関紙第123号発行	
3月28日(日)	3月例会	オンライン(zoom)

※日程が決定しましたら皆様にお知らせします。

全国LD親の会 関東ブロック会議報告

日時：2月14日（日） 13時～16時、場所：オンライン（zoom）

開催日前夜に大きな地震があり、被害のあった地域の会は急遽欠席となりましたが、合計12会20名が参加しました。

①全国LD親の会 主な活動予定（来年度）

◆全国LD親の会第14回総会 6月26日（土）

◆全国LD親の会第20回公開フォーラム 6月27日（日）

テーマ：発達障がい児の育ちと学びを支える～家庭と教育と福祉の連携・協働に必要なこと

◆日本LD学会第30回大会 12月10日（金）～12日（日）

テーマ：LIFE,LOVE,LD 一知の創造、情の共有から育むそれぞれのこれから
感染拡大の影響で、今後の行事の多くはオンライン開催となります。上記の他にも様々な活動を行います。インターネットの環境があれば場所を選ばないのがオンラインのよいところ。適宜お知らせいたしますので、皆様どうぞ奮ってご参加ください。

②子育てブックレット

全国LD親の会30周年記念事業として制作中の子育てブックレットシリーズ第一弾（「生活の基礎作り」）が、いよいよ書店に並びます。（「けやき」ではまとめて購入し、会員の皆様に1冊ずつ配布する予定です。）

◆「発達が気になる子のモヤモヤ子育てヒントブック～親の会30年の経験から～」
かがわ出版 2021年4月出版予定 A5版 1,300円（税抜）

③全国特別支援教育推進連盟関連

来年度は規模の縮小とオンラインを活用する形で開催される予定です。

④関東ブロック理事・評議員の改選交代

◆理事：神奈川「にじの会」⇒埼玉「麦」

◆評議員：山梨「いちえ会」⇒茨城「星の子」

⑤各会の活動

有料のzoomを契約し、オンライン茶話会などを開催している会がいくつかありましたが、どの会も講演会のような大きな活動はなかなか難しい状況のようでした。

「けやき」からは、（1）臨時総会で会則を変更し、活動状況に合わせて会費額を変更できるようにした、（2）無料zoomを利用して12月から例会を再開、（3）東京都との意見交換会は延期、の3点を報告しています。

⑥次回の関東ブロック会議【zoom】

◆日程：7月11日（日）の予定（第2希望：7月4日）

◆担当会：長野「よつばの会」、「けやき」 (TH)

全国LD親の会 公開フォーラム報告

日 時：2021年2月21日(日) 9時45分～16時

場 所：北九州市立商工貿易会館多目的ホール+オンライン(ZOOM)

テーマ：「共生社会における多様なコミュニケーション ～発達障害児者が社会とつながるために～」

【1】基調講演 「発達障がいのある人が社会とつながって生きるために」

広島県発達障害者支援センター長の西村浩二氏に、発達障害のある人が社会に参加するための3つの条件「①社会的障壁の除去、②自己理解・他者理解、③社会と繋がる手立て」についてお話いただきました。発達障害のある人が社会参加する時に私たちが大事にすべきことは、我々の側が無理に「あるべき姿」を求めるのではなく、プロセスを丁寧に踏みながら、その人が「見通しが持てる」「参加することに意味が見いだせる」ように促すことや、その人らしい生き方を承認・許容する姿勢を持ち、よき伴走者になることだそうです。

【2】「サイボーグ時代の人生戦略～社会参加のための新たなコミュニケーションツール～」

遠隔操作の分身ロボット「オリヒメ」を開発された吉藤オリィ氏にお話いただきました。吉藤氏は人の顔が覚えられず、コミュニケーションも苦手で、不登校で生きることに絶望を感じていた子供時代だったそうです。いくつかの出会いからロボット研究の道に進まれ、「社会参加できない人が参加できるようになるための仕組み作り」「どうすれば孤独感が消せるのか」をご自身の一生のテーマとして、「オリヒメ」を開発されたとのこと。テクノロジーを上手く活用し、自分で社会参加できることが自信に繋がると仰っていました。お話の途中でご紹介いただいた「オリィ&番田の自信の五段階説」は参考になりました。

【3】「人と出会い、絵と出会う」 Aju氏(アーティスト)

大学に入ってから発達障害の診断を受けたそうですが、それまで自身の感じ方や見方が他の人と違っているとは気が付かずに、皆と同じ様にできないことに苛立ち、ずっと自分を責めてきたそうです。大学で出会った先生がAjuさんに「どう感じているのか」「どう困っているのか」を尋ねながら環境を整えて下さったことが大きな支えになったとのこと。卒業後も先生とは二人三脚で歩まれ、「AjuはAju」とアルバイトをしながら好きな絵を描いていらっしゃいます。

【4】「社会とつながる方法」 まとめ

永浜先生(立命館大学・Ajuさんを支援)からはAjuさんとの関係性の変化について、永井氏(全国LD理事)からはご子息の社会的活動について、大曲氏(北九州親の会「すばる」)からは本人たちの余暇活動について、それぞれ報告がありました。『自分が自分で有りたい』のであれば、『他の人も他の人であってよい』『折り合いをつけるには、お互いが歩み寄って共通項を見つける(「認め合う」のではなく)』という永浜先生の言葉が特に心に残りました。

(TH)

ポーレポーレ～一年を振り返って～



2020年度は感染拡大の影響で活動に大きな制限を受けましたが、ボランティアの方々のお力添えにより、毎月1回オンライン上で集まり、近況報告やテーマに沿った話し合い等を行うことができました。環境が急激に変化する中で、定期的に顔を合わせ、お互いの状況や気持ちを話したり聞いたりできたのは、何よりも心の安定に繋がったと感じています。関わり続けてくださっているボランティアの皆様には、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

来年度の活動も従来通りとはいかないかも知れませんが、ワクチン接種等で状況が変わっていく可能性もあります。感染ができるだけ早く収束し、また色々な活動ができるようになる日を心から待っています。(TH)

★直近の活動報告

●2020年 12月13日(日) 5名の参加

オンラインでの活動が8回目となりました。今回は、前半はいつもと同様に近況を報告し合いました。近況では、仕事の話、映画の話、おいしいものの話、旅行の話、映画の話などをしました。仕事の話に興味深く聞きました。また、旅行先で鬼滅の刃の炭次郎のお土産が売っていたエピソードも面白かったです。後半は、皆さんと動画や写真を共有し、楽しみました。毎年恒例のカラオケの代わりになればと考えたものでした。動画では、かわいらしい猫の姿を映した動画、ミュージックビデオ、写真では電車の車両や絶景を共有しました。

●2021年 1月 10日(日) 6名の参加

オンラインでの活動は今回で9回目となりました。今回も、近況を報告し合いました。仕事の話、映画の話、テレビの話、年末年始の話、これからの話などをしました。また、感染症防止対策をどう行っているかについて、マスク着用や、働き方についても語り合いました。

●2021年 2月 14日(日) 7名の参加

オンラインでの活動は今回で10回目となりました。今回も、近況を報告し合いました。仕事の話、気分転換の話(映画、テレビ、プロ野球、散歩、ランニングなど)、「生きるとはどういうことか」という甥っ子さんからの問いの話などをしました。今の生活の中で、気分転換をどう工夫し図っていくかを、皆さんが考えていることを共有できました。

●2021年 3月 14日(日) 5名の参加

オンラインでの活動は今回で11回目となりました。今日で21周年となりますね。今回も、近況を報告し合いました。近況では、仕事の話(テレワーク、職場での話など)、趣味の話(映画、テレビ、プロ野球、漫画など)などをしました。プロ野球の予想順位発表もありました。みなさんで会って話したいねというお話もありました。

親なき後の準備と支援を考える

その1

親の介護を終え娘としての務めをはたせた安堵の中にいたが、私自身気付いてみたら老年期を迎えていた。体力・気力ともに落ちてきているが、ここでもうひと踏ん張り息子が少しでも生きやすいように、道筋をつけていきたいと願っている。親なき後を考える年代に入っていた。成人し社会人となった息子は、日々前向きに努力を重ねながら生活している。その成長を喜びつつも、他方では頑張り過ぎないようにとも思う。困った時にはためらわずに助けを求めて欲しい。息子にとって必要な支援とは何か。この頃じっくり話し合う機会が少なくなってきていたので、先延ばしせず話し合っていきたいと思っている。

(MN)

親亡き後…気になり始めた時期はいつ頃だろう？ 私たち親はその時が来ることを意識する間もなく、就労・自立を目指して来たように思う。幸い息子は仕事や人間関係に恵まれ、落ち着いた毎日を過ごしています。息子には「自分でできることは自分でする」という生き方を伝えてきました。35歳を過ぎた頃から、親子の考えが違って息子生き方を肯定的に考えることが出来るようになり、ずっと楽になった気がします。今まで、福祉が進まないことに不安を感じて動いたこともありましたが、今後は息子に必要な支援を求めていくことを考え、やっと、我が家なりの親亡き後に向かい歩み始めたところです。今後も必要な人が必要な支援を求めて、より一層充実した社会資源を作り上げていくことが大切だと思っています。

(N)

現在、移行支援で職業訓練中の25歳の息子がいます。まだ就職もこなっていないので、具体的に「親なき後」の段階まで考えられていないのですが、第一歩としてグループホームでの一人暮らしを始めたことは準備と言えるかもしれません。時間に余裕があるので家事（炊事・洗濯・掃除）など自分で一通りこなせるよう指導しています。季節ものの入れ替えが難しかったり、食事のメニューが固定化して同じようなものしか食べていなかったりと、同居していたら気が付かなかったことがいくつもあります。今なら教えてあげられると思いながら、この程度で一人暮らししていかれるのかと親亡き後が心配にもなります。これから、どのような支援があったら暮らしていけるのか見極めて、利用できるものを研究し、足りない点はどのように補っていくか考えていきたいです。

(MT)

自分の中では、もう少し時間があるのではないか・・・と希望的観測を持っているものの、準備の大切さはわかっているつもりです。昨年、私自身の「記録」を記入し始めました。同時進行で断捨離も。家の中の「どこ」に「何が」あるのかを、息子にも伝えながらの作業中です。自分自身の整理がついてきたら、「親心の記録」記入に取り掛かりたいと思っています。

(MS)

親なき後の準備と支援を考える

その2

機会がある時に成年後見制度や信託の勉強会に参加する程度で、具体的にはまだ何も始めていません。「親なき後」の準備には金銭（生活費）や住む場所の問題もありますが、本人が信頼して相談できる人や組織が見つかるのかが、私としては一番気掛かりです。一人っ子で兄弟姉妹もないので、本人が関係を作っていくための時間も考えてそのようなところを早目に、できれば複数見つけていきたいと思っていますのですが、情報が少ないのと、(私の住む市では)地域定着支援事業所の数もそんなに多くはなく、相談支援に携わる方々が多忙で簡単には繋がれないということもあり、ネットワーク作りの難しさを感じています。(TH)

自分自身高齢者の域に入り、実際に準備する段階にきていると思っていますが、今まで勉強してきた成年後見や障がい者支援は、グレーゾーンの子にはどうもじっくりこないのです。読み書きや系統立てて考えるのが苦手な事務仕事はできないけれど、サービス業の今の仕事は解雇されることなく早 8 年目。あれっ?と思われることも多々あったと思います。上司や同僚の理解と支え(周りは支援とは思っていないはず)があってこそ続いているのでしょう。他に、役場での様々な手続き、医療や車の保険、税金関係・・・窓口で、記入や手続きが完了するよう、本人にその場で直接教え、見守って頂く(小さなコミュニティ居住で、今までやってこれた)そんなゆったりとした、やさしい社会であれば、生きていけるのではと思います。わからなければ、素直に「教えてもらえますか」と言うよう、これからも本人に促していきたいです。(YA)

「親なき後」は大変大きなテーマです。親がなくなった時の社会状況がどのようになっているのか想像できません。また、障害の有る無しに関係なく、親として子供に対する想いは全世界共通だと思っています。その想いはそれぞれで私は子供に対して「自分の思うように生きて欲しい」と思っていますが、親がなくなった時に子供がどのような状況であるかも分かりませんので、どのようなサービスが子供に合うのかも分かりません。そのため、支援をしてくれる施設や行政に多くつながりを持てるように努めています。それと、子供が親の介護や相続で苦労しないようにすることです。(MT)

本の紹介 『反省記』

著者：西 和彦（アスキー創業者）、出版社：ダイヤモンド、価格：1,600 円（税別）

子どものころから家中の機械を分解していたので、怒られることが多かったが、家族から褒められ「創意工夫」で人に喜ばれる経験をした。これがきっかけで・・・。



会員更新手続きのお願い



総会はメーリングリストを利用しますので、会員更新手続きもメーリングリストと口座振り込みで行います。お忙しい中大変恐縮ですが、お手続きは5月31日（月）までに終えていただくよう、お願いいたします。（更新手続きや会計担当の役員は、皆様の手続きが終了するまで仕事を終えることができません。早目にご対応いただければ、大変助かります。）

※5月例会をどのような方法で行うかはまだ分かりませんので、5月例会を待たずに振り込みで更新手続きをお願いいたします。

振込口座： ゆうちょ銀行 記号：10160 番号：65362611
銀行コード：9900 店名・店番：018（ゼロイチハチ）
預金種目：普通 口座番号：6536261
LD親の会「けやき」 （エルディオヤノカイケヤキ）

年会費：3000円 （振込手数料はご負担ください。）

※今年度は年会費額が変更になっています。ご注意下さい。

※「会員更新申込書」「子どもの状況アンケート」はメーリングリストで送付しますので、記入後に廣瀬（YFA44932@nifty.com）までご返送ください。

（リスト未登録の方には、郵送します。記入後郵便で廣瀬へご返送ください。）

編集後記

「〇〇警察」という言葉をコロナ禍でよく耳にするようになりました。また、「あおり運転」という言葉もよく聞きます。

SNSでの炎上や誹謗中傷が増加しているようにも感じるこの頃です。最近出版された本で「私は正しい（その正義感が怒りにつながる）」がありました。著者は、安藤俊介さん。出版社は、産業編集センターで価格が1,300円（税別）です。この本は、正義感と怒りのメカニズムを徹底解説したものです。この本の紹介文を読んだ時に、すぐに「〇〇警察」を思い出しました。本人独自の基準による正義感で怒りを覚えるとのことです。これは、私にも当てはまるところがあると思いました。反省です。

「怒り」という火花が出た時に、マイナス感情・状況という引火物に火が付いて燃え上がるようですが、このマイナス感情・状況が多ければ多いほど炎が大きくなるそうです。では、「マイナス感情・状況」は何なのだろうか？ 不安・辛い・苦しい・悲しい・寂しい・孤独感・罪悪感・疲労感・睡眠不足・超ストレス・空腹・具合が悪い等の事だそうです。なので、これらを貯めないようにしたいものです。 （MT）

.....